

令和4年度 事業報告書

“みんなで支えあい、安心して、
いきいきと暮らしていくために、
心をつなぐ福祉の輪”

令和5年3月
社会福祉法人 昭和町社会福祉協議会

住民主体の理念に基づき、地域にある福祉問題を、みんなで考え話しあい、課題の解決に向けて取り組むという活動を通して、地域に働きかけ、福祉コミュニティづくりを推進する役割や住民と関係機関・団体などをつなげていく中核的な組織としての役割が社会福祉協議会には求められています。地域住民の方や組織・団体の方、社会福祉施設等の福祉関係者および保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現をめざした活動を推進するために、本事業計画書を作成し目的に向かって着実に実施して参りました。

【基本方針Ⅰ】 協働の人づくり

(1) 広報・啓発

①ホームページによる広報

事業内容や予定などを随時更新し、町民の各事業への自発的な参加及び協力を呼びかけるなど、常に新しい情報を提供しました。

②SNS 活用事業

高齢者をはじめ、若年層もターゲットに見据えた広報手段として SNS を使用した情報発信を行いました。

(LINE 登録者数 289 名)

③社協だよりの発行

当会の活動をより身近に知ってもらうため、毎月発行の「広報しようわ」に社協だよりの「まごころ」欄を掲載し、当会活動への理解と関心を深めました。

④ボランティアだよりの発行

地域のボランティア活動を紹介し、ボランティアへの理解と関心を深めました。

⑤情報ネットワークの推進

当会役員・評議員をはじめ、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、いきがいクラブ連合会、障がい者福祉会、ひとり親家庭福祉会等の組織を通じて情報を発信し、町民の社会参加促進や連携強化を図りました。

(2) 福祉教育

①福祉・ボランティア活動の意識啓発

地域ボランティアの開拓に努め、「地域のために役立とう」という人を掘り起こし、住民が福祉活動に参加しやすい環境づくりを推進しました。

②ボランティア体験 ※新規事業

町内在住の中学生を対象に、ボランティア活動や福祉活動への関心をもっていただくための体験機会として開催しました。当初の計画にあった、施設訪問は新型コロナウイルス感染症の影響で中止としました。

(参加者総数 15人)

(3) ボランティア育成・活動支援

① ボランティア活動推進事業

健康づくりや生きがいづくり等を支えるボランティアの確保に努め、ボランティア育成のための研修会や情報交換会、資質向上のための視察研修を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて視察研修は中止となりました。代替事業としてボランティア同士の交流と活動へのモチベーション向上を目的として「ボランティア交流研修会」を実施しました。

(ボランティア交流研修会参加者数 58名)

② ボランティア・NPO ボードの管理

ボランティア募集、環境情報、イベント情報、講座・講演情報、助成金・寄付金等の情報、国際交流・災害支援情報に加え、身近な地域の多種多様な情報を掲示し、ボランティア活動の情報を提供するボランティア・NPO ボードの管理を行いました。

③ ボランティア登録制度の運営・推進（ボランティア人材バンク）

貴重な経験や豊かな知識、優れた技能等を有する人材を発掘・活用することにより、種々多様なボランティア活動の推進を図りました。

(新規登録者 3件)

④ 町ボランティア・地域住民活動センター（通称：ボランティアセンター）の運営管理

ボランティア活動の拠点として利用できるよう、適切な管理運営に努めました。

⑤ ボランティア連絡協議会運営支援

当会登録ボランティア等により組織されたボランティア連絡協議会の運営を支援し、研修会や講習会、情報交換会等の開催を通じてボランティア活動の推進を図りました。

⑥ ボランティア活動事業への助成

町民の主体的参加と地域連帯に基づき相互に支えあう福祉型まちづくりの実現に資するため、各種活動を実践する民間ボランティアを育成、支援することにより善意活動に取り組みやすい環境づくりを推進しました。

(助成件数 11 団体 助成総額 279,234 円)

⑦ 「ボランティア交流会」の後援

ボランティア相互の交流機会の創出とモチベーション向上を目的とした昭和町ボランティア連絡協議会が主催する「ボランティア交流会」を後援しました。

⑧ ボランティアサロンコーディネーター講習会

健康づくりと生きがいづくり等を支えるボランティアのための講習会を開催し、ボランティアの活動支援をおこないました。

(開催回数 1回 参加者総数 21名)

⑨ボランティア活動（傷害）保険の窓口業務

ボランティア活動中の様々な事故やケガに対して、損害賠償責任を補償する保険の窓口業務を行いました。

（保険加入者総数 287人）

⑩災害・防災ボランティアの受け入れ体制の整備

発災後、当会職員やボランティア等と協力して災害ボランティアセンターの設置・運営を行えるよう体制を整備するため、災害ボランティア協力員養成講座を4日間にわたり開催し有事を想定した実動訓練やそれに伴う研修会を行いました。

（災害ボランティア協力員養成講座参加者総数 133人）

⑪昭和三十九年参加型有償ボランティア事業

日頃生活している地域で誰もが安心していきいきと暮らせるように、日常生活の困りごとを地域で助け合うことができる町づくりに向け、住民参加型による有償ボランティア事業を推進しました。

（依頼総数 10件	マッチング及び派遣総数 2件）
・相談のみ 2件	・受け入れ先紹介 2件
・本人都合によるキャンセル 2件	・事前調査時による解決 1件
・登録のみ 1件	

⑫いきいきふれあいサロン情報交換会

いきいきふれあいサロンを運営しているボランティア団体の情報共有や研修、交流の場として年度内に3回実施しました。

【基本方針Ⅱ】 いきいきとした暮らしを支える基盤づくり

(1) 相談支援

①総合相談・支援事業

地域の高齢者等の各種相談に応じ、支援策等の助言を行いました。また、相談の内容にあわせて必要な機関へ繋げるなど適宜支援を行いました。

②心配ごと相談事業

町民の悩みごとに対応できるよう、身近な場所で気軽に相談できる環境を提供しました。また、相談後のフォロー体制の強化を意識した、職員による適切な助言・指導を行いました。

（相談件数 1件）

③結婚相談事業

県内在住の出逢いを希望する方に登録していただき、相談員による登録者同士の紹介や相談業務を行うなど、出逢いの場を提供しました。また、登録者以外の方も対象とした出逢いのパーティーを2回開催しました。

（登録者総数 125人【男性：98人 女性：27人】）

(2) 健康づくり・福祉サービス

①生活支援体制整備事業

昭和町生活支援体制整備事業における、生活支援コーディネーターを当会に配置し、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう体制づくりを支援しました。また、主体的な活動としての理解を深めるためのフォーラムや勉強会の他、事業報告会を開催しました。

(フォーラム開催数	1回	参加者数	56人)
(勉強会開催数	2回	参加者数	41人)
(報告会開催数	1回	参加者数	14人)
(コア会議開催数	12回)		
(支援団体活動支援数	7回)		

②高齢者ふれあい事業

高齢者相互の親睦と、ふれあいを広げるとともに、地域社会に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、どなたでも気軽に参加できる様々な教室を開催しました。また、地域へ出張して開催する「出張ふれあい教室」も併せて開催しました。

(開催総数	49回	参加者総数	628人)
-------	-----	-------	-------

③ウォーキング大会 ※新規事業

高齢者の外出機会の創出と地域交流の場の提供を目的に開催しました。例年開催してきました福祉スポーツ大会（ゲートボール大会・ペタンク大会）から内容を変更したことで、顕在的な参加者以外の参加が見受けられました。

(参加者総数	8人)
--------	-----

④運動指導事業

運動機能の向上を図るとともに、寝たきりなどの要介護状態になることへの予防を目的として健康体操教室を開催しました。

(開催総数	19回	参加者総数	382人)
-------	-----	-------	-------

⑤配食サービス事業

65歳以上の独居世帯及び高齢者世帯並びに身体障がい者であって、心身の障がいや傷病等の理由により調理することが困難な方を対象として、健康で自立した生活が送れるように配食サービスを提供しました。また、配食と併せて安否確認も行いました。

(配食総数	2,538食	利用登録者数	38人	安否確認総数	2,529食)
-------	--------	--------	-----	--------	---------

⑥軽度生活援助事業

在宅の高齢者世帯等を対象として登録ヘルパーを派遣し、家事援助等のより細やかなサービスを提供しました。

(利用登録者数	24人	登録ヘルパー	6人	総稼働時間	659時間)
---------	-----	--------	----	-------	--------

⑦外出支援サービス事業

総合会館の温泉利用者のため、福祉バスに登録ヘルパーが添乗し乗降時の安全確保に努め外出の支援を行う計画でしたが、福祉バスの運行はありませんでした。

⑧いきがいクラブ活動支援事業

高齢者の生きがい作りの一環として、『いきがいクラブ活動』が円滑に行えるよう支援を行いました。

⑨ボランティア移送サービス

公共交通機関を使用することが困難な高齢者を対象に、ボランティア人材バンクを利用した移送サービスの提供に努めました。また、運転ボランティアの拡充にも努めました。

(サービス提供件数 61件)

⑩昭和町住民参加型有償ボランティア事業【再掲】

⑪登録ヘルパー友愛訪問事業

登録ヘルパーにより、独居高齢者世帯に対し安否確認を行い、在宅福祉、地域福祉の充実に努めました。

⑫福祉車両の貸出事業

生活上の支援を必要とする高齢者や障がい者、傷病時の通院等車椅子のまま乗車可能な自動車の貸し出しを行いました。

(貸出件数 30件)

⑬備品等貸出事業

高齢者や障がい者等の社会参加の推進を図ることを目的に、要綱に基づき当会が所有する備品（車椅子、レクリエーション用具、テント等）の貸し出しを行いました。また、今年度より新生児や介護者家族を対象としたスマートビデオモニター（※SVM）の貸し出しを開始しました。

(貸出件数 90件 【車椅子：31件 SVM：3件 他備品：56件】)

⑭訪問型介護予防サービス：総合事業訪問型A

高齢者で基本チェックリストの結果により対象となった方または、要支援認定を受けた方が地域で自立した生活を継続できるよう支援員を自宅へ派遣し、軽易な日常生活上の援助を行いました。

(利用登録者数 6名 登録ヘルパー6名 総稼働時間154時間35分)

⑮ボランティア登録制度の運営・推進（ボランティア人材バンク）【再掲】

(3) 経済的支援

①生活福祉資金（総合支援資金）貸付制度の運営業務

低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的に安定した生活をおくれるよう、資金の貸し付けと必要な相談支援を行う窓口業務を担当しました。また、新型コロナウイルスの影響による特例貸付の償還業務の一部相談支援業務を10月1日から委託を受け、実施しています。

生活福祉資金 (相談件数 12件 貸付決定件数 0件)

緊急小口資金特例貸付	(相談件数	26件)	※コロナ特例貸付
総合支援資金特例貸付	(相談件数	16件)	※コロナ特例貸付
緊急小口資金の特例貸付相談支援業務(総数			3件)

②臨時特例つなぎ資金貸付制度の運營業務

失業等、日常生活全般に困難を抱えている人に対し、継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸し付けについて窓口業務を行う計画でしたが、問い合わせはありませんでした。

③福祉金庫貸付事業

生活に困窮している方や急な出費への対応でお困りの方に、無利子で少額の貸し付けを行ってきましたが、返済の目途がたない方も多いため今年度は現況の把握に注力し滞納整理や返済方法への相談対応を積極的に行いました。

④日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の推進

福祉サービスを利用する際のさまざまな手続きや契約、預金の出し入れ、生活に必要な利用料などの支払い手続きや、年金や預金通帳など大切な書類の管理等の支援を行いました。

(利用者数 6名)

⑤生活困窮者自立支援事業

経済的な困窮により日常生活に支援を必要とする方を対象として相談や支援を行いました。

(相談件数 11件)

⑥フードドライブ事業

家庭や職場で余った食料品を持ち寄り、食料の確保が困難な世帯や団体を支援するための活動を行いました。町内のショッピングセンターに協力をいただき、回収箱を設置することで潤沢な食料確保を行いました。

(当会単独実施の緊急食料支援件数 46件)

(フードバンク山梨連携による食料支援件数 30件) ※宅配

(収集総計 1,669点 822.35kg)

【8月：889点 181.05kg 1月：734点 179.95kg】

【10月：イオンモールフードロスイベントによる提供 46点 22.95kg】

【通年：いーなとうぶ収集量 438.4kg】

(フードバンク山梨連携によるフードドライブ収集総計 367.3kg)

⑦子ども食堂 ※追加事業

児童の孤食の防止と居場所づくりを目的として甲斐市社会福祉協議会との連携を図りイオンモール甲府昭和で開催しました。

(参加者数 30名 ※甲斐市内在住者含む)

⑧生活困窮者寒波対策緊急支援事業業務 ※追加事業

山梨県が実施する「生活困窮者寒波対策緊急支援事業」の協力要請を受け、生活困窮

者向け灯油助成券配布を行いました。

(灯油助成券配布枚数 122枚)

⑨生活困窮者食料支援事業 ※追加事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい生活をされている世帯（生活福祉資金特例貸付申請世帯・児童扶養手当受給世帯）を対象にフードドライブで寄せられたお米をお分けする食料支援として実施しました。

(実施世帯 41件)

【基本方針Ⅲ】 参加しやすい仕組みづくり

(1) 交流促進

①高齢者の映画鑑賞会 ※新規事業

高齢者相互の交流と出掛けるきっかけづくりを目的に映画鑑賞会「55キネマ」を開催しました。

(参加者数 53人)

②ボウリング大会 ※新規事業

多世代間交流の創出を目的としてボウリング大会を開催しました。

(参加者数 40人 うち子ども 10人)

③ICT（情報通信技術）活用事業

スマートデバイスを容易に使用可能な環境として敷設済みのWi-Fiを提供し住民の利便性向上を図りました。

④社協カフェ事業（共同募金配分金事業）

住民が気軽に集まることができ場所の提供をしました。ICT活用事業との連携を図りながら、外出機会の創出に繋げ、住民主体のコミュニティへとなるようなきっかけづくりを提供しました。

(開催総数)	8回	参加者総数	109人)
・食品サンプル	2回	参加総数	14人
・リラクゼーション	2回	参加総数	30人
・ミニ門松づくり	2回	参加総数	15人
・寄せ植え	2回	参加総数	50人

⑤笑輪社協のアトリエ事業（共同募金配分金事業）

対象に制限を設けることなく、多種多様な教室を開催し気軽に参加できる交流の場として笑顔の絶えない、心身の健康を保つきっかけを提供しました。

(開催総数)	4回	参加者総数	69人)
・ウォーキングサッカー		6人	
・キャンプ体験教室		28人	
・ドキドキッ！ドッキドキ！ドキ土器づくり体験教室			22人
・親子ヨガ体験教室		13人※親子6組	

⑥くらしアップ!!事業

生活に役立つことや趣味に関することをテーマとした内容として、スマホの使い方教室を全5回の内容で開催しました。

(参加者総数 70人)

⑦ふれあい祭りへの出展支援

「昭和町ふるさとふれあい祭り」に参画し、ボランティアバザー等の出展を支援し、地域住民とのふれあいを深め、活力ある地域づくりを推進する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて開催はありませんでした。

⑧IKUZO プログラム（共同募金配分金事業）※新規事業

住民相互の繋がりを深める場と機会を通じて、よりよい地域環境と家族の絆づくりのきっかけを提供しました。また、遊びや学びを通じて住民の豊かな心を育み健全な教育の熟成を図ることを目的として親子映画鑑賞会を開催しました。また、対象を限定しないペイペイの使い方教室も開催しました。

(参加者総数 277人)

・親子映画鑑賞会 260人 ・ペイペイ使い方教室 17人

⑨子ども未来創生事業

次代を担う子どもたちの未来を豊かにするきっかけとなる事業として、ドローン体験教室を開催しました。

(参加者数 13人)

⑩いきいき・ふれあいサロンの拡充・助成（共同募金配分金事業）

高齢者を社会的孤立から守るなど、「自主的な仲間づくり」の場として各地区に設置したいいきいき・ふれあいサロンの活動の支援や拡充を図りました。また、共同募配分金を財源とした助成事業も併せて行いました。

(参加者総数 900名 開催総数 32回 助成総額 208,890円)

(共同募金を財源とした助成総額 45,000円 3団体)

⑪年末・年始交流会事業（共同募金配分金事業）

住民の主体的な参加によって支えられている福祉活動を支援・推進することを目的として、ひとり親家庭福祉会の開催する年末・年始の交流会事業に助成し、支援を行いました。

(助成額 35,000円)

(2) 連携強化

①情報ネットワークの推進【再掲】

②地域見守りネットワーク事業

高齢者・障がい者・児童が、地域で安心して暮らすことができるよう地域住民と民間事業者等に協力を得て、見守りネットワークの組織づくりを進めました。

③支部社会福祉協議会活動の推進

地域福祉推進の中核組織として、支部社会福祉協議会の体制を強化しました。支部社会福祉協議会を中心に、区、ボランティア等の協力により要援護者の援助や高齢者、障がい者等の自立と社会参加を推進しました。

④地域ケア会議との連携

地域福祉計画に基づき、保健・医療・福祉の連携、関係機関や地域関係者との連携による総合的な在宅福祉サービスの提供について検討する計画でしたが、担当課からの招集はありませんでした。また、当会からのケース提案もありませんでした。

⑤戦没者遺族活動、障がい者福祉活動、ひとり親福祉活動の推進

戦没者遺族団体や障がい者団体、ひとり親団体等の自主的活動に対して支援しました。

⑥中央市・昭和町地域自立支援協議会との連携

昭和町、中央市合同での地域の障がい児者等に対する支援体制の整備及び福祉サービスの充実を図りました。

(3) 機能強化

①社会福祉協議会活動の充実強化

民間組織としての特性を活かし、地域のニーズ、地域福祉の課題に順応できる体制の強化を図りました。

②職員資質の向上と体制の充実

職員の資質向上や技術の習得等のため研修の開催や各種研修会への参加機会を充実し、質の高いサービス提供ができる体制づくりに努めました。

③理事会、評議員会の充実強化

理事会、評議員会の機能をより一層発揮できるよう、運営の充実を図りました。

④個人情報の保護

個人情報を適正に管理するため、個人情報管理者等を定め個人情報の保護に努めました。

⑤事務の合理化の推進

業務がより効率的に遂行されるよう、事務の合理化を図りました。

⑥地域福祉の拠点として地域福祉センターの充実

地域福祉の拠点として利用しやすい環境整備に努めました。

⑦地域福祉センターの運営・管理

地域福祉センターの機器・設備の管理・清掃や、利用運営に努めました。

⑧昭和町いきがいクラブ連合会事務局

いきがいクラブ連合会が自主運営組織として活動できるよう支援しました。

⑨日本赤十字社昭和町分区事務局活動の推進と社資協力者の拡大

赤十字活動や社資募集運動を推進しました。

⑩昭和町赤十字奉仕団事務局

奉仕団員の研修や訓練、地域のボランティア活動に参加するために総合的な支援をしました。

⑪昭和町ボランティア連絡協議会事務局

ボランティアグループ同士の結びつきを強め、お互いのグループの情報交換を行い、ボランティアが円滑に活動しやすい環境づくりへの支援をしました。

⑫昭和町結婚相談所事務局

結婚相談員の活動の支援をしました。

⑬支部社会福祉協議会事務局

地区理事や区長をはじめとする区役員、民生委員、関係団体、ボランティア等、地域住民が一体となった地域福祉活動の推進及び支援をしました。

⑭障がい者福祉会事務局

障がい者福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。

⑮ひとり親家庭福祉会事務局

ひとり親家庭福祉会の各種事業の推進及び支援をしました。

⑯遺族会事務局

遺族会の各種事業の推進及び支援をしました。

⑰傾聴ボランティア事務局

傾聴ボランティアの活動の推進及び支援をしました。

⑱共同募金活動の充実

共同募金について積極的に情報の提供を行うとともに、町民、町内小中高等学校、各区役員、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会関係者及び各企業の協力により募金活動を行いました。

⑲賛助会員の拡大

個人会費は1口 800 円、団体会費は1口 2,000 円、特別会員1口 1,000 円以上を基本に依頼し、自主財源の確保のため、会員の拡大に努めました。

⑳新たな自主財源の確保

新たな自主財源の確保に努めました。

【基本方針Ⅳ】 安心して地域で暮らせる環境づくり

(1) 災害時支援

①災害・防災ボランティアの受け入れ体制の整備 **【再掲】**